

全国県連活動推進委員会の報告

7月15、16日全国の県連役員が集まり、学習と活動交流を行いました。厚生労働省の消費生活協同組合業務室の佐藤室長から「社会保障に関する最近の情勢について」のテーマで講演を頂きました。高齢化等に伴い、2015年度は介護、年金、医療、福祉、生活保護等の社会保障関係費2015年31.5兆円（2000年16.7兆円）に急増していること。2025年には、75歳以上の高齢者比率18%（14年実績13%）の超高齢化社会になる中で相互扶助の生協の役割は大きいと期待されました。日生協、和田専務からは、2014年度の全国生協が2年連続して増収増益と事業経営が好調な結果を残したこと。「地域見守り活動」で協定が764市町村と締結、助け合い活動、東日本大震災の被災地復興支援活動の継続等の社会的な取り組みが広がっていること。口頭で日生協として、多くの国民が反対している憲法違反の「安保法制」問題でコメントを発表すると報告がありました。中央労福協「2015年度政策・制度

に関する要求と提言」については、格差、貧困社会の是正問題として奨学金制度の拡充、改善の要求を重点課題にすると報告されました。事業種事業連（大学生協連、全労済、労金）の役員からも事業状況と課題について報告されました。県連の全体活動交流は、宮城県連から被災地生活再建支援制度の拡充の取り組み。東京都連から第4期中期計画。石川県連から体験型消費者教育としての食品表示調査委託事業の取り組み。高知県連から地域ともにすすめる安心安全なまちづくりの取り組み。長崎県連から平和の取り組みの報告を受けて交流しました。15日は3分科会に分かれて県連の体制、常設の委員会等の開催状況、議員と県行政への渉外活動、会員生協対象の交流・研修会企画の開催状況等の活動交流を行い終了しました。道連として不足していることは、政党、行政のネットワークづくり、協同組合間の連携づくりです。

福祉問題の総合化を考える会開催される

6月16日(火)、全労済会館会議室に於いて、第2回福祉問題の総合化を考える委員会が開催されましたのでご報告致します。

今回より4人の新しいメンバー①あさひかわ福祉生協遠藤専務②北大生協岸本専務③センター事業団小畑センター長④さっぽろ高齢者福祉生協柿原常務が加わり16人のメンバー参加がありました。

冒頭、相内委員長よりご挨拶があり続いて、報告事項としてNPO法人リブ&リブ代表石橋さんの活動報告、協議事項として北星大学杉岡先生よりシェアハウスアンケートの取り組みについて問題提起があり協議が行われました。

取り組み報告の、NPO法人リブ&リブ代表石橋さんは東京よりお出で頂き、実践的なご報告を頂きました。報告では活動Missionとして、「少子高齢化社会において、全ての世帯の人々が社会で役割を持ち、ささえあい夢や生きがいをもって笑える明るい社会の実現を目指している事」世界の流れでは、ドイツ・ノル

ウェー・スペイン・フランスの事例紹介と高齢化を迎えている国々で急速に広がっていることを学びました。

また、協議事項ではアンケート調査にご協力頂く北星大学杉岡先生より、アンケート設計と推進方法について提起があり協議した結果、学生からのアンケートは、室工地域・江別地区・北大周辺の学生より、高齢者アンケートは高齢者退職者連合の組合員とコープさっぽろ配食事業利用の持ち家高齢者を対象として夫々300事例を目標に、8月末を目処としてアンケート回収に当たることが確認されました。

最後に、次回日程は8月18日とし、メインテーマとして、コープさっぽろ渡部部長よりコープさっぽろの福祉事業構想について報告戴き意見交換することとなりました。以上報告いたします。



取り巻く環境が厳しい中、 組合員の生活向上と安定した事業継続に向け

北海道電力生活協同組合「2015年度通常総代会」を6月11日(木)東京ドームホテル札幌において、総代定数126名中、122名が出席(うち、委任状出席1名)し開催しました。

議案は①2014年度事業報告、決算報告、監査報告に関する件、②2014年度剰余金処分に関する件、③2015年度事業計画および収支予算に関する件、④2015年度役員報酬額に関する件、⑤退任役員慰労(記念品)に関する件、⑥利用分量割戻金の全額出資金への振替に関する件、⑦組合員の除名に関する件、⑧役員補充に関する件の全8議案を提案・審議し全議案とも可決承認されました。第8号議案の「役員補充に関する件」では、理事3名、監事1名の役員交代が承認されました。

依然として当生協組合員を取り巻く環境は厳しく、消費税増税も重なって、生活に不安を感じる組合員も多くなっております。しかし、このような時期だからこそ生協の果たす役割は大きいものと考え、組合員の生活と可処分所得の実質的な向上を念頭に置き、廉価で、安心・安全な商品・サービスの提供に努めるとともに、組合員が安心して利用いただける事業運営に努めていくことを確認し閉会しました。



総代122名が出席し、全議案が承認された2015年度通常総代会



通常総代会報告

去る6月2日、さっぽろ芸術文化の館において2015年度通常総代会が開催された。前札幌市長の上田文雄氏が顧問弁護士として12年ぶりに復帰し「市長としての経験を生かしながら脱原発社会づくりに向けて取り組んでいきたい」と挨拶があった。

14年度の活動報告では組織運営の在り方を見直し、組合員が主体的に拡大活動に参加する機関会議としてクラブコミュニティで、新たに様々な世代の組合員が仲間作りについて話し合い、その結果前年度を上回る組合員数となった。しかし、共同購入活動は4月からの消費税増税に起因し、前年対比99.6%に留まった、

との総括があった。

15年度の主要活動の課題・取り組みは、くらしコミュニティを拡大に真ん中に「わかって食べる」をテーマに生産者との協同する力を強化し利用結集をおこなっていく。

また、生活クラブ館を拠点に地域福祉づくりや生活クラブの総合エネルギー政策の推進、料理教室の開設等についての提案に基づいて活発な質疑応答の後、すべての議案が賛成多数で可決された。



2015年度 会員生協新任役員変更のお知らせ

※新任 ◎副理事長 ○常務理事 □常勤理事 (敬称略)

2015年7月1日現在

会員名	理事長名	専務理事名	会員名	理事長名	専務理事名
コープさっぽろ	大見 英明	中島 則裕 ○会田 彰 ○岩藤 正和	上川地区学校	門馬 秀孝	○吉越 友子
生活クラブ	船橋奈穂美	二川 悟	網走四地区学校	佐藤 正人	○五十嵐泰浩 □齊藤 隆
北海道勤労者住宅	中村 昭	松澤 雅広 ○大森 宏 ※□柴野一彦	大学生生活協同組合連合会 北海道事業連合	吉見 宏	佐藤 敦紀
北海道労働者共済	※山上 潔	堀江 修治	北海道大学	柿澤 宏昭	岸本 敬一
北海道医療	羽二生輝樹	※渡辺 直志 ○佐々木藤夫	北海学園	佐藤 信	萩原 英司
札幌医療	前野 宏	□四十坊克也 □眞野 勉 □酒井恵美子	酪農学園	※吉田 鷹	※野崎 知司
さっぽろ高齢者福祉	小松 徹人	※○柿原 尚美	北星学園	大原 昌明	山田 盛彦
北海道電力	勘川 敏 ◎佐々木邦彦	※古川 崇 ○工藤 健志	札幌学院大学	平澤 亨輔	※菅沼 秀也
北海道学校	小関顕太郎	三上 耕治	北海道教育大学	※田口 哲	鶴田祐巳子
			室蘭工業大学	河合 秀樹	菊池 裕之
			帯広畜産大学	渡邊 芳之	浦瀧 誠二
			北見工業大学	三上 修一	山田 正